

Space-E Version 5.5

DDD Viewer 操作ガイド

株式会社 NTTデータ エンジニアリングシステムズ

Windows® 7、Windows® 8 またその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他の製品および会社名等は、各会社等の商標または登録商標です。

■ご注意

- ・本書の内容及びソフトウェアは、予告無しに変更することがあります。
- ・本書の内容は細心の注意をもって作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きの点がございましたら、弊社または販売代理店までご連絡ください。
- ・本書に記述するソフトウェアを運用した結果発生する損害につきましては、本書の記述およびソフトウェアの不備にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- ・本書および本書に記述するソフトウェアは、著作権法上の保護を受けています。
- ・株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズに対し文書の承認を得ずに、無断で本書およびソフトウェアの一部あるいは全部について、複写または複製することは禁じられています。

DDD Viewer 操作ガイドについて

この操作ガイドは *Space-E Ver.5.5* DDD Viewer の基本的な操作を解説したものです。

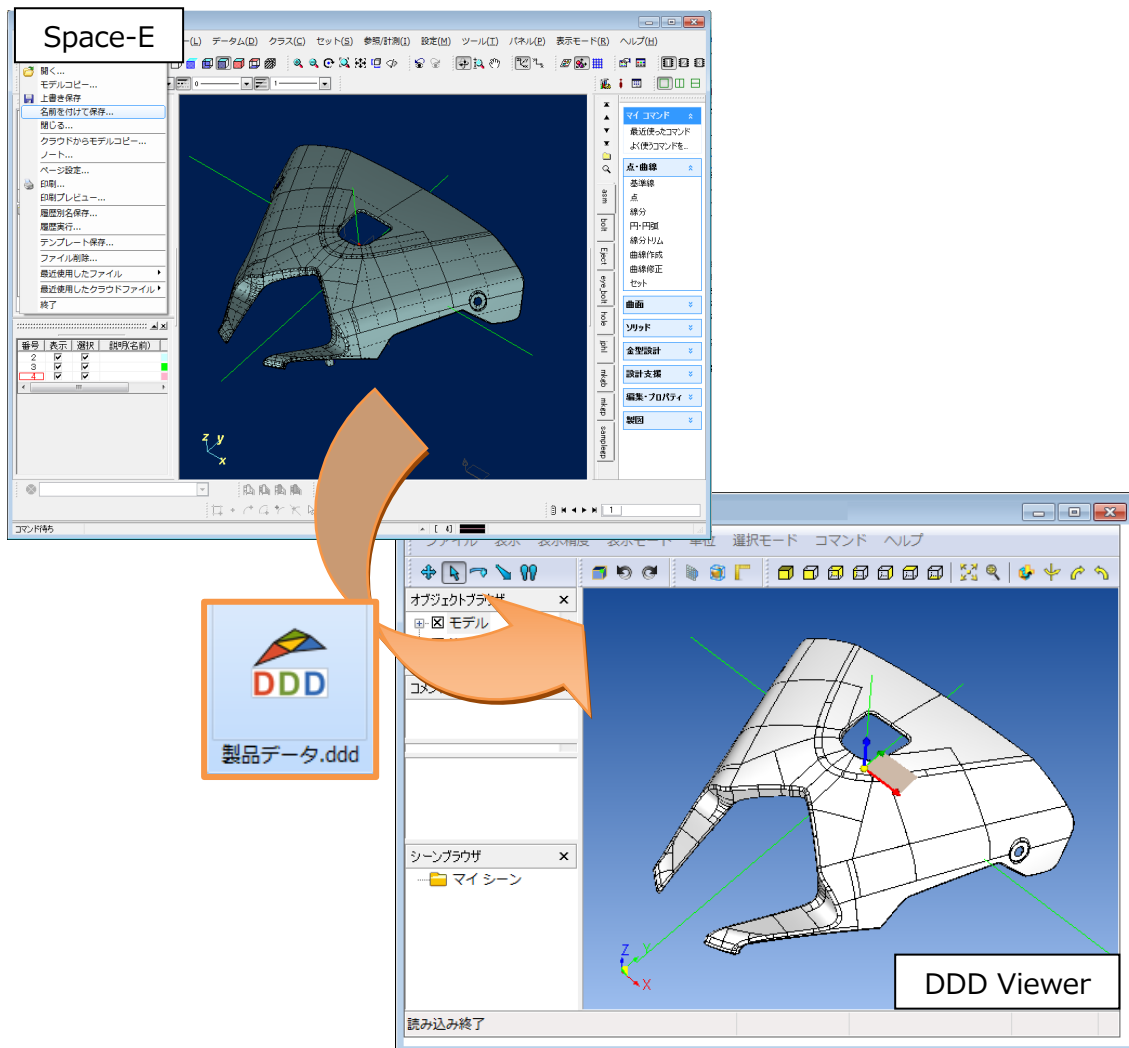
目次

1 DDD Viewer について	1
2 DDD Viewer インストール手順	1
3 ddd ファイル出力と表示 (<i>Space-E/Modeler</i>)	3
3-1 <i>Space-E/Modeler</i> から ddd ファイルを出力する方法	3
3-2 <i>Space-E/Modeler</i> から出力した ddd ファイルの表示	4
4 DDD Viewer の基本操作	5
4-1 3D ビューイング	5
4-2 全体表示/部分拡大	6
4-3 表示方向	6
4-4 形状の選択	7
4-5 表示/非表示	7
4-6 表示モード	8
4-7 計測	8
4-8 断面表示	9
4-9 外寸表示	10

1 DDD Viewer について

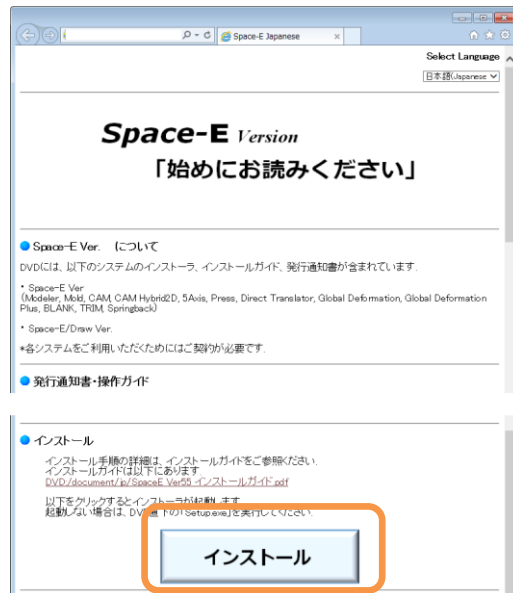
Space-E から出力した ddd ファイルを DDD Viewer で表示できます。

- DDD Viewer ファイル出力機能と付属の DDD Viewer ソフトは Space-E /Modeler の標準機能です。
- DDD Viewer には利用制限、配布制限はありません。複数の PC にインストールして使用できます。

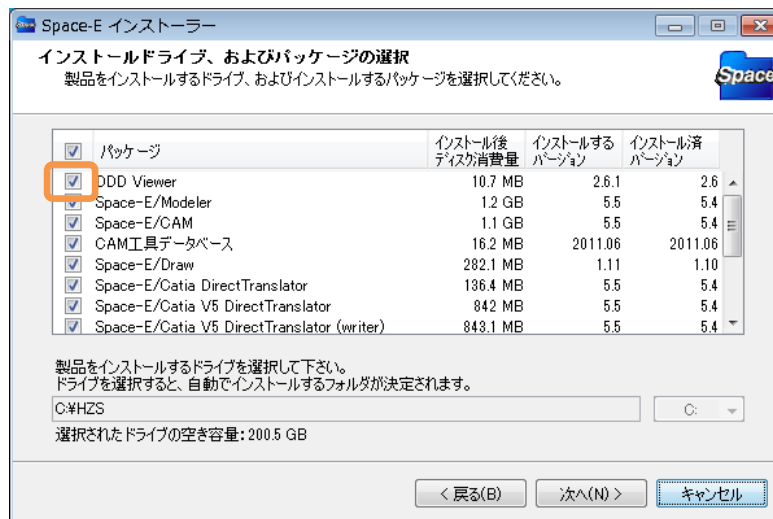


2 DDD Viewer インストール手順

DDD Viewer のインストーラは **Space-E Ver.5.5** インストールメディアに同梱しています。DVD-ROM ドライブに DVD をセットすると、自動的に「始めにお読みください」が起動しますので、下部の「インストール」を押下するとインストールが始まります。



DDD Viewer にチェックを入れてください。



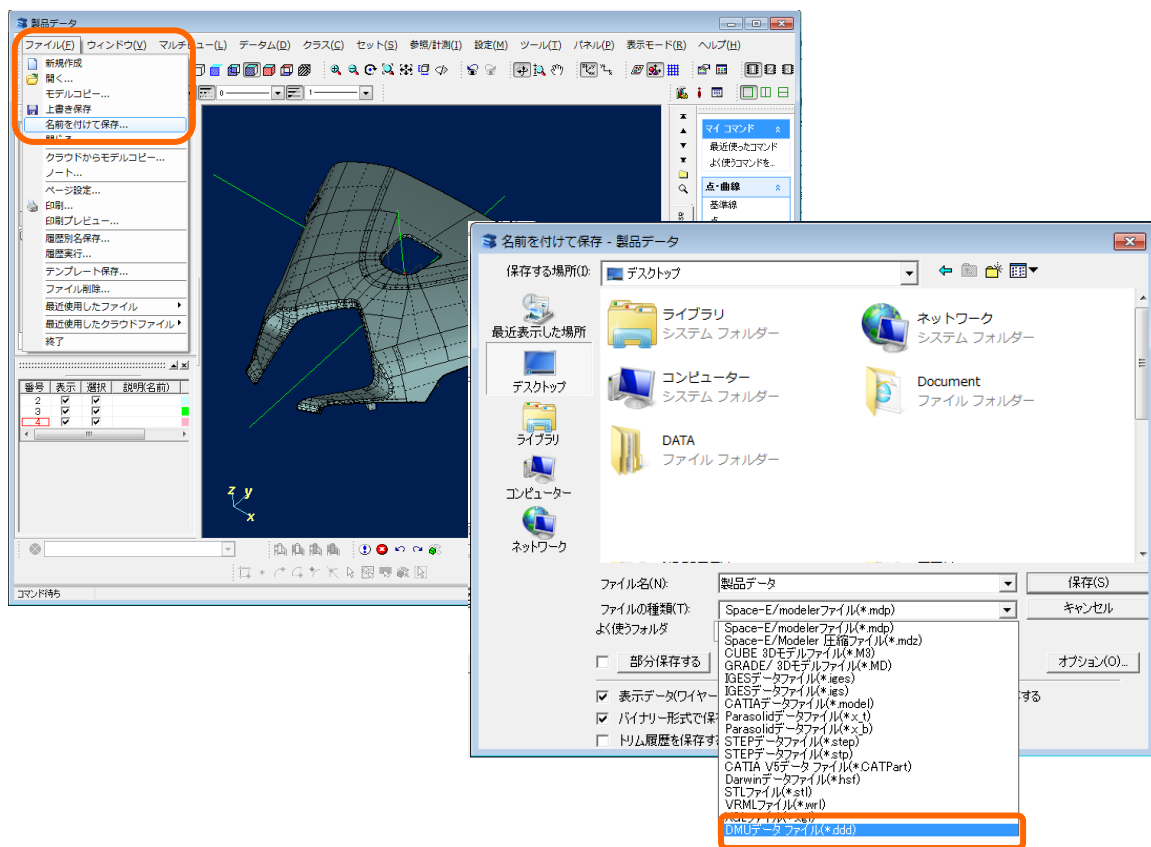
インストーラが起動しない場合は、DVD-ROM 内の **Setup.exe** を直接実行してください。

3 ddd ファイル出力と表示 (Space-E/Modeler)

3-1 Space-E/Modeler から ddd ファイルを出力する方法

Space-E/Modeler の[ファイル]→[名前を付けて保存]で、ddd フォーマットを選んで保存してください。

※モデルサイズが大きい場合には変換時間がかかります。



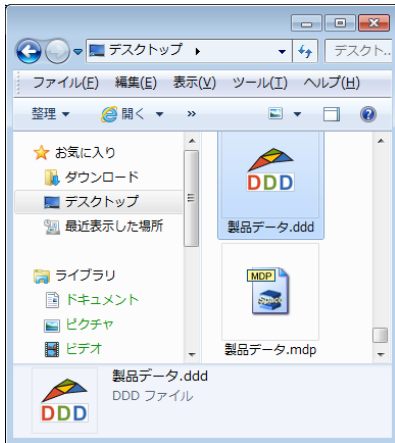
【ご注意】

現バージョンの DDD Viewer は、Space-E Ver.4.6 で出力した ddd ファイルと互換性がないため、表示できません。

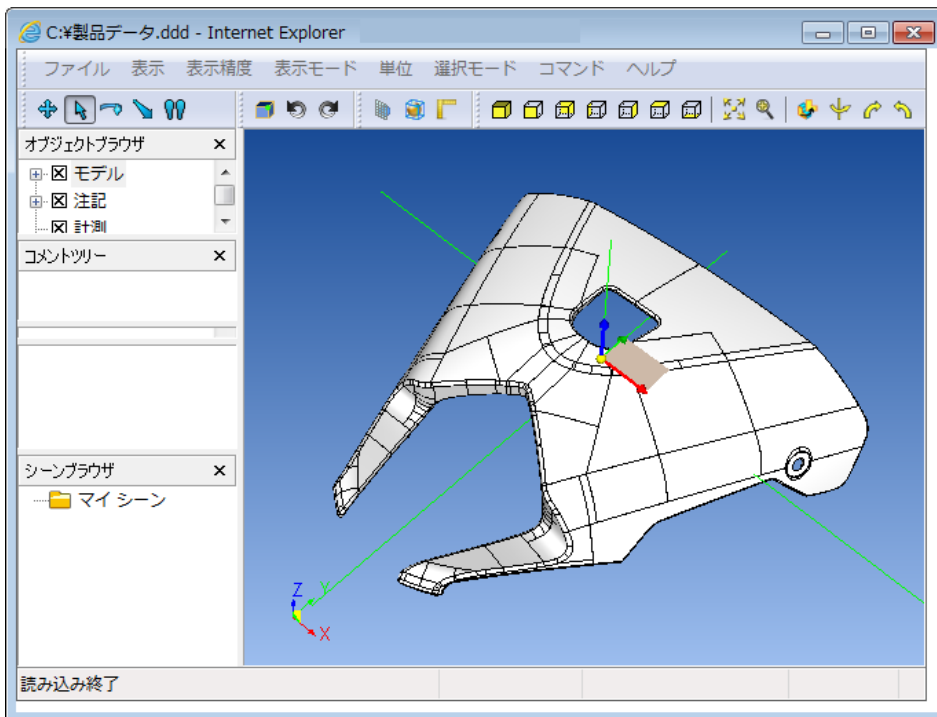
お手数ですが、該当のモデルデータを Space-E Ver.5.5 にて再出力していただくよう、お願い致します。

3-2 Space-E/Modeler から出力した ddd ファイルの表示

拡張子 .ddd ファイルをダブルクリックしてください。



下図のように表示されます。



4 DDD Viewer の基本操作

4-1 3D ビューイング

形状の表示の回転、移動、拡大・縮小をします。

<マウス操作>

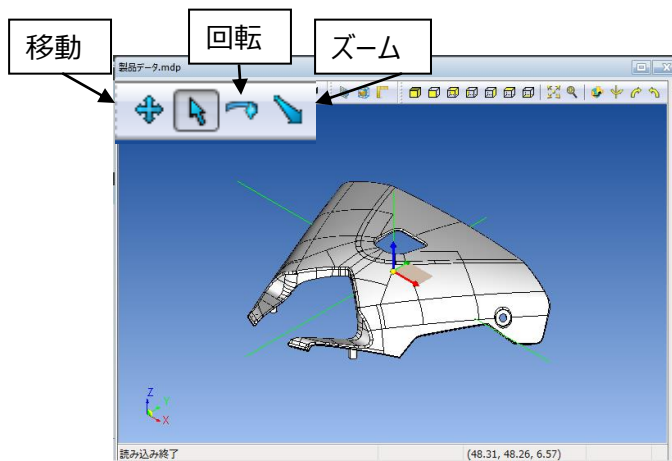
回転 マウスの中ボタンを押しながら前後左右に動かします。

移動 キーボードの[Ctrl]+マウスの中ボタンを押しながら前後左右に動かします。

拡大・縮小 キーボードの[Shift]+マウスの中ボタンを押しながら前後に動かします。
 マウスホイールを前後に回転させます。

<アイコン操作>

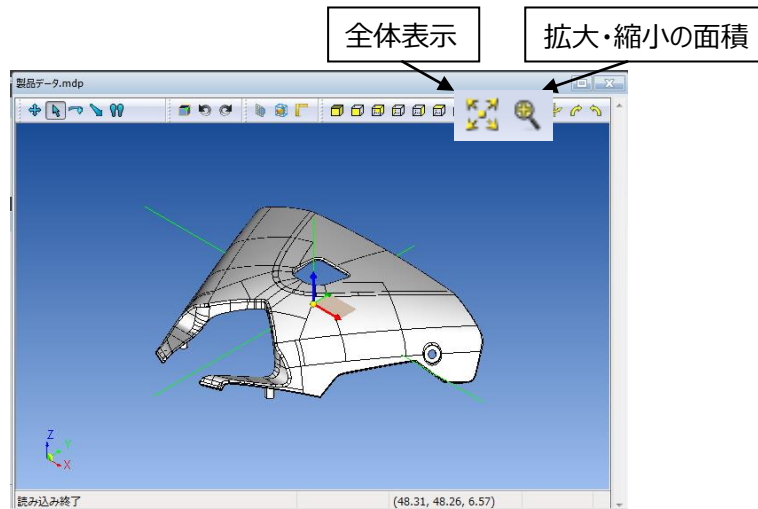
以下のアイコンを選択後、マウスの左ボタンを押しながら前後左右に動かすとビューイングできます。



4-2 全体表示/部分拡大

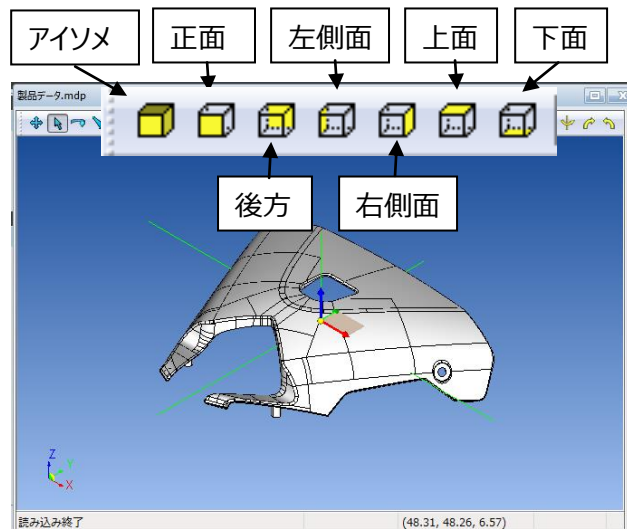
形状の全体表示/部分拡大をします。

全体表示	形状を全体表示します。
拡大・縮小の面積	矩形領域の形状部分を拡大表示します



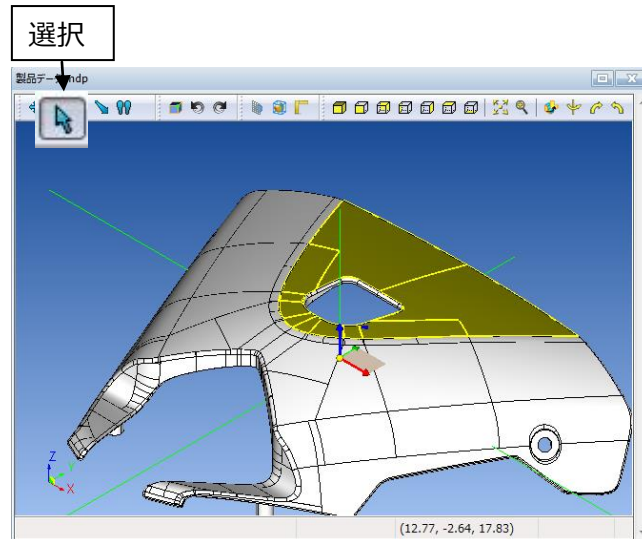
4-3 表示方向

形状を見る方向を選択します。



4-4 形状の選択

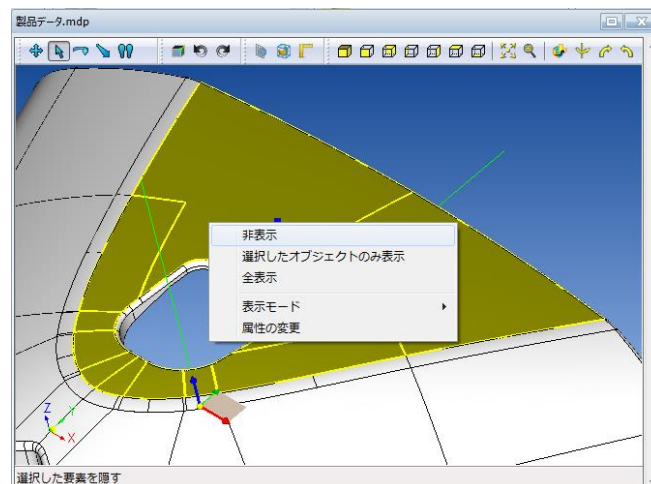
指示した形状を選択します。キーボードの[Ctrl]+形状を選択すると、複数選択が可能です。
 選択箇所は黄色で表示されます。



4-5 表示/非表示

選択した形状の表示/非表示をします。

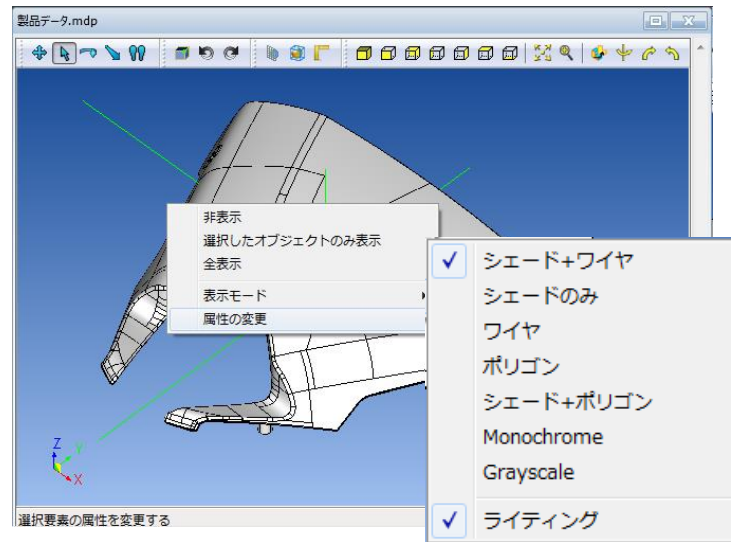
選択した形状の表示/非表示 マウス右ボタンメニュー → 選択したオブジェクトのみ表示/非表示
 形状すべてを表示 マウス右ボタンメニュー → 全表示



4-6 表示モード

形状の表面や稜線の表示方法を切り替えます。

マウス右ボタンメニュー → 表示モードより選択します。

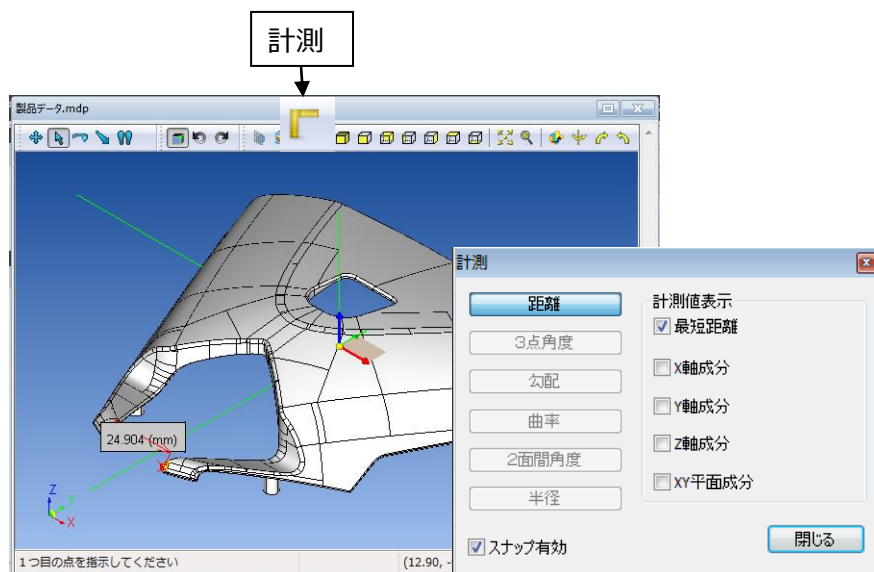


4-7 計測

2点間の距離を測定します。

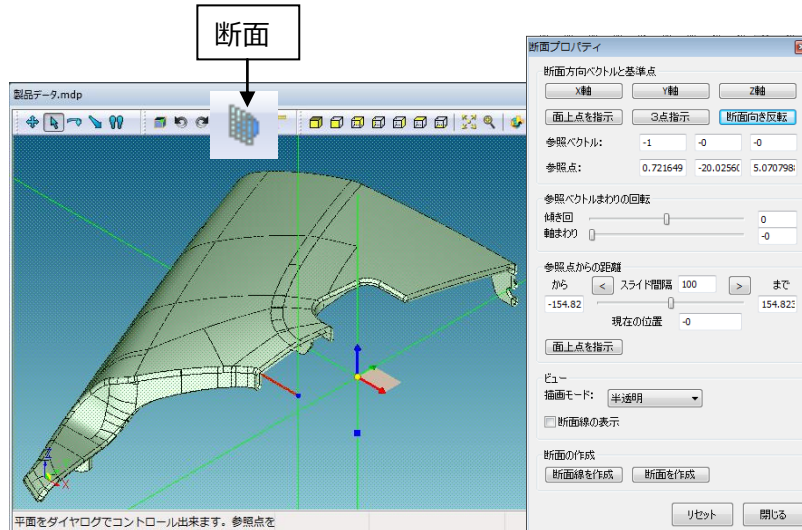
計測コマンドを選択後、2点を選択します。

計測値は、最短距離、X軸成分、Y軸成分、Z軸成分、XY平面成分から選択します。



4-8 断面表示

断面表示を行います。



断面方向ベクトルと基準点

- [X 軸] 断面の参照ベクトルを X 軸と平行にします。参照点の変更はありません。
- [Y 軸] 断面の参照ベクトルを Y 軸と平行にします。参照点の変更はありません。
- [Z 軸] 断面の参照ベクトルを Z 軸と平行にします。参照点の変更はありません。
- [面上点を指示] 選択した面の法線を断面の参照ベクトルとします。参照点は指示した面上点となります。
- [3点指示] 3点を通る面の法線方向を断面の参照ベクトルとします。参照点は3点目になります。
- [断面の向き反転] 断面の参照ベクトルの方向を反転します。
- [参照ベクトル] 断面の参照ベクトルの方向を入力します。
- [参照点] 断面の参照点の座標値を入力します。

参照ベクトルまわりの回転

- [傾き回] 参照ベクトルと断面の間の角度を変更します。
- [軸まわり] 参照点および参照ベクトルを基準に断面を回転させます。

参照点からの距離

スライダーを左右にスライドさせると、断面が移動します。

- [スライド間隔] スライドする間隔を入力します。
- [から] スライドを開始する位置を参照点からの距離で入力します。
- [まで] スライドを終了する位置を参照点からの距離で入力します。
- [断面位置] スライドの位置を参照点からの距離で入力します。
- [面上点を指示] 指示した面上に断面を移動します。

ビュー

- [描画モード] 断面のビューモードを、なし、グリッド、半透明から選択します。
- [断面線の表示] 断面をスライドすると、常に断面線の表示が表示されます。

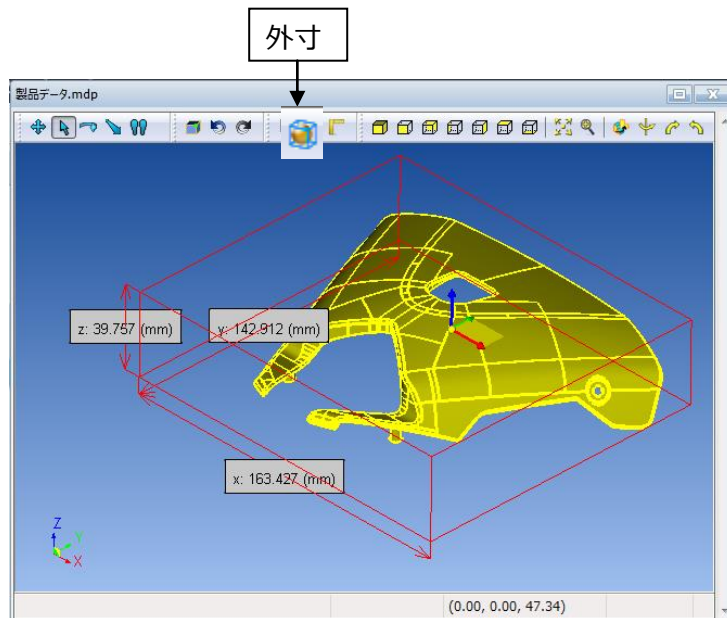
断面の作成

- [断面線を作成] 断面線を表示します。コマンドを終了後も断面線が表示されます。
- [断面を作成] 断面を作成します。コマンドを終了後も断面が表示されます。

4-9 外寸表示

選択した形状の外寸を表示します。

外寸コマンドを選択後、形状を選択します。選択した形状の外寸が表示されます。



『Space-E Ver.5.5 DDD Viewer 操作ガイド』

2016年 2月 29日 第1版1刷発行

制作・発行 株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ
〒144-8601
東京都大田区西蒲田7丁目37番10号
